

2024 年度事業計画書

(2024 年 4 月 1 日 - 25 年 3 月 31 日)

【基本方針】

同盟育成会事業の二本柱の一つである学生寮事業では、電通育英会の協力による応募者は増えた一方、男子の応募者が急減し、追加募集を実施した。2025 年度の入寮生募集ではさらに工夫を重ねて、応募者拡充に向けて努力していく。学寮では市谷寮、白山寮とも、劣化した外壁、内装、設備について、長期修繕計画に基づき、大がかりな改修、更新を進める。

もう一つの柱である奨学金事業では、給付奨学生の新規募集枠は、学部生、大学院生各 20 人を維持する。ただし、応募状況や財団の財政事情を踏まえて、弾力的な対応をする。

【管理部門】

収入面では電通グループの株式配当金が 2023 年度通年で 139 円 50 銭と 22 年度の 155 円 25 銭から大きく減少した。24 年度予算では確実性を原則とし、電通グループが公表した予想配当よりも低めに計上した。一方で、債券運用や上場投資信託 (ETF) の運用も順調だ。この結果、収入合計を 3 億 4,813 万円 (23 年度予算は 3 億 6,754 万円) と見込んだ。引き続き収支相償の基本を守るため、財務体質の健全性に留意しながら、学寮の設備更新など必要な事業には相当額の出費を行う。

【学生寮事業】

- (1) 2025 年度の新規入寮者募集 = 25 年度の入寮者募集は、前年に続きオンライン面接のみで実施する。募集人員に満たない場合は、弾力的な対応をする予定。
- (2) 学生寮の改修 = 市谷寮、白山寮とも長期修繕計画に基づき、改修を進める。これに伴い、寮内で使用するエアコンをはじめ導入から年月を経ているものは逐次更新する。

- (3) 教育補助事業＝財団主催の新入寮生入寮式（4月）、創立記念行事（10月）、成人式兼送別会（1月）や、寮生が自主的に実施する予定の新人歓迎会（4月）、夏季キャンプ（8月～9月）、クリスマスパーティー（12月）などのイベントを開催する。
- (4) 保健・衛生＝財団の負担で、寮生希望者にインフルエンザの予防接種を受けさせるなど、寮生の健康維持に努める。

【奨学金事業】

- (1) 新規採用目標＝大学院生、学部生とも給付奨学金の新規採用者数は、前年度に引き続き、それぞれ 20 人とする。給付額は大学院生月額 6 万円、学部生同 4 万円は維持する。
- (2) 給付奨学生研修会＝大学院生と学部生の研修会は年 2 回、秋（9月）と春（2月）に実施する。秋はオンライン形式とするが、春は対面で開催する。また、奨学生同士の懇親を図るため、7月に会合を開く。

【収益事業】

唯一の収益事業である旧渋谷寮跡地の日本パーキング株式会社への賃貸は安定的に推移しており、継続する。

以上